

APHS 参加報告

市立東大阪医療センター
消化器外科／腹部ヘルニアセンター
谷田 司

この度は APHS Scholarship 2023 に選出して頂き感謝申し上げます。私は APHS への参加は今回が初めてでしたが多くの有意義な経験ができました。

今年はマレーシアのペナン島での開催でしたがペナンはヨーロッパ、アジアの文化の融合を感じる素晴らしい雰囲気の街でした。まずは学会前日夜にホテルにチェックインし、太田医院の太田先生ファミリーとレッドガーデンという屋台街へ。ビールと焼鳥で乾杯し景気づけしました。次の日は蜂須賀理事長、三澤教授に親睦会を開催して頂き、日本がアジアのヘルニア学会において果たすべき役割を知る機会を得ました。また、今村先生をはじめとする縫合グループの先生方と交流し意見交換ができたことは大変有意義で楽しい機会でした。私の発表はロボットヘルニアのビデオプレゼンテーションでした。ロボットは国内でもこれからの分野であり、まずは国内でのエビデンスの確立から始め、技術の発展とともに、アジアへも広めていきたいと感じました。学会を通じてアジア各国から参加された先生方の発表を聴講し、懇親会で交流することでヘルニアへの熱意を感じることができ、多くの刺激を頂きました。

3年後には大阪で APHS が開催されます。今回の APHS での貴重な経験を3年後に生かせるように日々精進し自分の実力を付けていこうと決意しました。

蜂須賀理事長、三澤教授主催の親睦会



学会会場にて



アジア各国の先生方との交流

宿泊したホテル前にて太田先生と

